

# 公社) 日本山岳会栃木支部 2025年1月マスタークラブ山行報告書

- 1 期日：2025年1月15日（水）
- 2 場所：晃石山（てるいしさん）から馬不入山（うまいらずやま）（栃木県栃木市）
- 3 コース：清水寺駐車場－晃石山－桜峠－馬不入山－桜峠－清水寺駐車場
- 4 参加者：菱田克彦、君島敏明、村田美代、大島健一

## 5 行動概要

予定より少し遅れて、9:30 清水寺駐車場（標高 105m）をスタート。清水寺は、「花の寺」として有名で、スイセン、ロウバイが咲いていた。ロウバイの咲く境内の坂の途中から晃石神社参道に入った。参道とはいうものの、結構急な山道を登って行く。

10:25 晃石神社（390m）に到着。拝殿は山中によく作ったなというような立派なもので、本殿の装飾彫刻は、とても見事なもの。



晃石神社



本殿彫刻

ここは、『稜線をたどるみち』と呼ばれる栃木駅から岩舟駅へのコースが通っており、東へ進むと太平山。我々は晃石山山頂を経て馬不入山へと向かう。

少し登って、10:35 晃石山山頂（419.1m）に到着。一等三角点があるが、ここの標石は21cm角で、普通の18cm角のものより大きい（なぜかは不明）。ここからは日光連山や富士山の眺望が素晴らしいはずで、頭上はキレイな青空なのだが、日光連山は雲に遮られ、富士山の方は強く霞んでいて、残念ながら、まったく見えなかった。



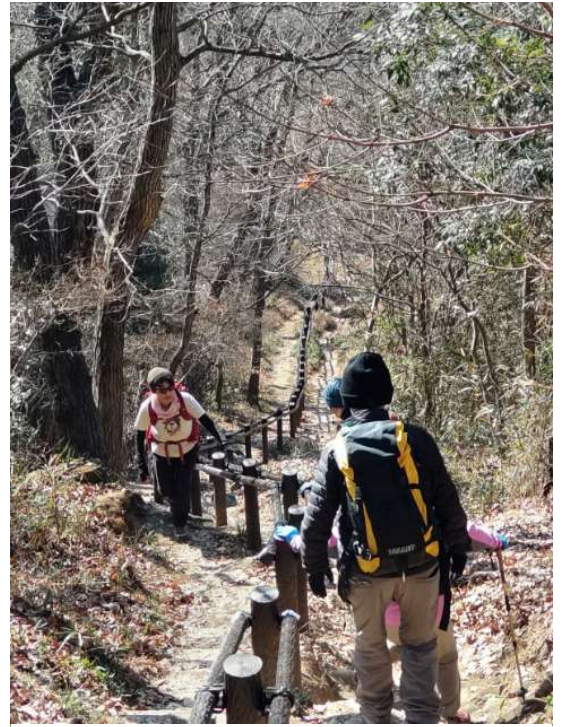
晃石山山頂



ここまでは一気に登ってきたが、この先はアップダウンを繰り返す稜線歩きとなる。道は良く踏み固められていて、歩きやすい。桜峠 (275m) への下りは、やや急だが、すごく立派な手すりがあって、安全に下れる。11:25 桜峠に到着。ここには、四阿、ベンチがありゆっくり休むのに最適だが、馬不入山で昼食にすることとして、通過した。



馬不入山山頂



桜峠への下り

12:00 馬不入山 (345.2m) に到着。計画では、この先の大明神山まで行くのだが、山休明けや喘息に苦しむメンバーがいたので、ここままで戻ることとした。昼食後、ほんの少し先の展望台まで行った。やはり頭上は晴れてはいるが、10 数 km 先の大小山がようやく見える程度に霞んでいた。

12:45 戻り始めた。同じ道に戻るの面白くないので、地理院地図に記載されている馬不入山から 100m 余り戻ったところからの下る道を探したが見つからず、桜峠まで戻った (13:15)。峠からは、『関東ふれあいの道 (かかしの里・ぶどうのみち)』を清水寺へまっすぐ下り、13:50 清水寺に戻った。この頃から雲が出て、時折雨がばらついた。



↑ 晃石山

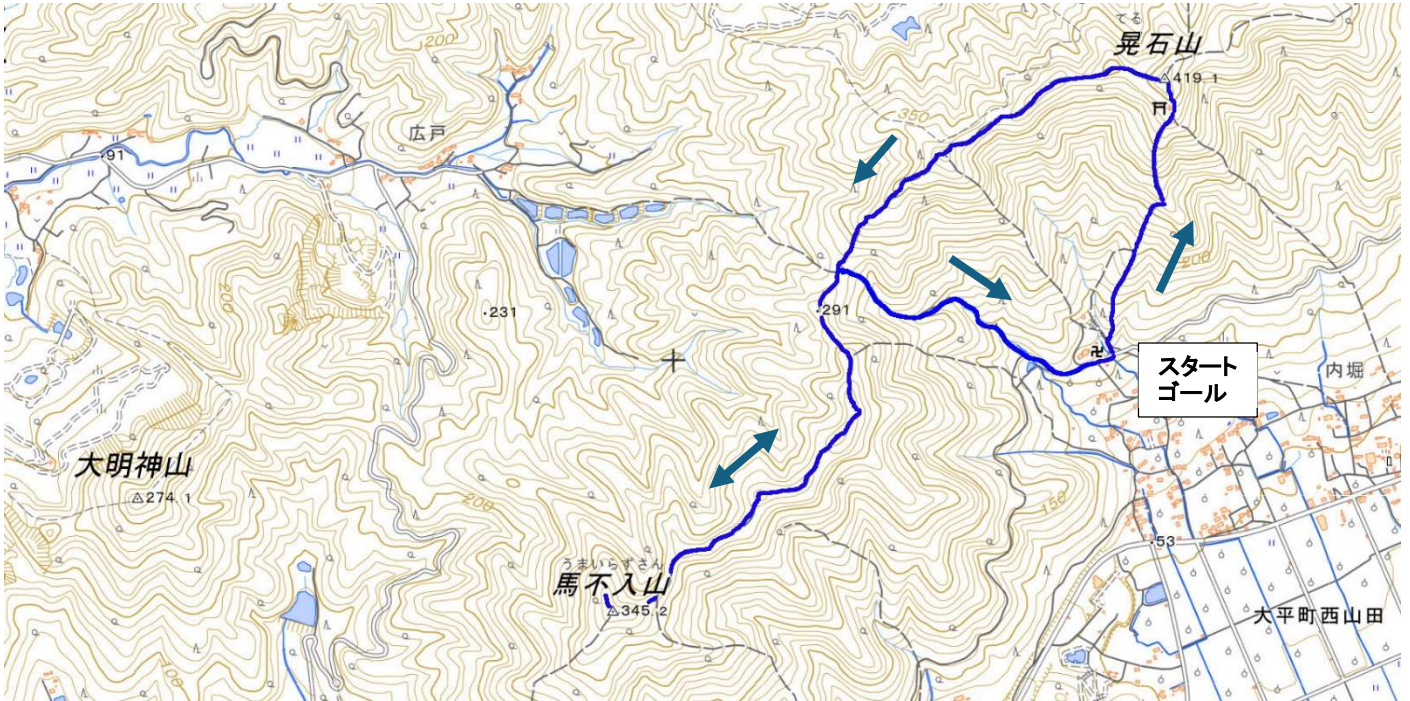


好天にもかかわらず、眺望がなかったのが残念だったが、風もほとんどなく、1月とは思えない暖かい日だった。平日なのに、多くの登山者がいたのには驚いた。

## 6 ヒヤリハット

なし。無理しないよう計画のコースを短縮した。

(菱田 記)



### (註) 晃石神社

天平元 (729)年の創立と伝えられています。当時、鏡石、神石という奇岩があって、日夜恍々と輝いたことにより、綾都比之神 (あやとひのかみ) と称されてうやまわれたとされています。

天長 2 (825) 年、藤原冬嗣により杜額を賜り従五位下に叙せられました。

天慶の乱の折、藤原秀郷が必勝を祈願して勝利したので、その靈験に感謝し天慶 10 (947) 年、杜を再建し寄進したと伝えられています。

兵火や山火事により何度か消失しましたが、今の建物は文政 8 (1825)年に再建されたものと言われています。本殿は檜材権現造柿葺で、装飾彫刻は磯辺凡龍斎信秀の作です。

<境内の看板 (環境省・栃木県) >